

西武バス×武蔵野美術大学

産学共同プロジェクト第二弾の実施が決定しました！

- ✓ バス車窓からの景色を活用した乗車時間を楽しめるレクリエーション「CHIGITTE」の実施
- ✓ バスの進行方向に合わせて広げる「ムサビご近所おりがみマップ」の配布

西武バス株式会社

武蔵野美術大学

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋）と武蔵野美術大学（東京都小平市、学長：長澤忠徳）は2019年度に、バス事業が抱える安全対策の推進、乗務員確保、地方バス路線の維持などの諸問題の解決に向けて、利用者目線の形にとらわれない新たな視点で検討するための産学共同プロジェクト※を立ち上げました。

※産業界と学校とが相互に協力し合って、研究や技術者教育の促進を図ること

このプロジェクトは、利用者の快適性向上のためのバスサービスの在り方を、西武バスの若手社員で構成される会社横断的なプロモーションチームと武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の有志学生が共同で検討、制作、発信、展開していくもので、2019年度より約2年を費やし、問題の抽出、それに向けての対処方法などを検討し、2021年の3月には①乗り方・支払い方法を表現したピクトグラムを作成、②乗務員のイメージビデオの制作を展開しました。

これに引き続きまして、以下の企画を第二弾として実施いたしますのでお知らせいたします。

- ①バス車窓からの景色を活用した車内での時間を楽しめるレクリエーション「CHIGITTE（チギッテ）」の実施
- ②バス進行方向に合わせて広げる新感覚マップ！「ムサビご近所おりがみマップ」の配布

詳細については別紙1・2のとおりです。

(別紙1)

1. 企画内容

①バス車窓を見て車内での時間をより豊かに！レクリエーション「CHIGITTE (チギッテ)」の実施

実施場所：西武バス 小平営業所管内 寺71系統ほか

実施期間：2022年3月18日(金)

内 容：「バスの車内でのお客さま同士のコミュニケーションを活性化させたい」という美大生の希望が原案となって発案。

路線沿線に存在する看板や標識の記号やマークを絵札にし、乗車中のバス車両からそのマークが見えたら絵札をちぎるレクリエーション。

絵札の裏にはそのマークにまつわる施設や店舗情報を掲載しております。



②バス進行方向に合わせて展開しよう！「ムサビご近所おりがみマップ」の配布

配布場所：西武バス 小平営業所 および おりがみマップ掲載店舗(一部を除く)

配布期間：2022年3月中旬から順次展開予定

内 容：バスの進行方向に従って「おりがみ」のように順番に広げていくことで楽しめる新感覚な沿線紹介マップ。

美大生ならではの感性や視点に基づいた沿線の見所紹介を「おりがみ」型という形でマップで紹介しております。



- ・当企画内容に関しては、西武バス公式 YouTube チャンネルにても公開しております。

(別紙2)

2. 関係者の概要

西武バス

西武バスは「安全は全ての業務に優先する」の安全方針のもと、西武鉄道沿線を中心に一般乗合バスは東京都西部と埼玉県南部を、高速乗合バスは北信越、近畿方面を事業エリアとした、地域社会を支えるバス事業者です。2020年春には路線バスのカラーリングデザインを67年ぶりに一新し、「Story(エピソード)」の愛称の新カラーリングデザインのバスが誕生、2020年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

西武バスウェブサイト URL: <https://www.seibus.co.jp/>

武蔵野美術大学

武蔵野美術大学は、1929年に帝国美術学校として創立し、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、文化の創造発展と社会貢献に寄与すべく教育研究活動に邁進してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部にて、美術・デザインの広がりに対応する12学科と通信教育課程を有し、大学院造形研究科、造形構想研究科をあわせて輩出した卒業生は7万2,000人を数えます。

武蔵野美術大学ウェブサイト URL: <https://www.musabi.ac.jp/>

(プロジェクトの様子)※2019年撮影



(第一弾展開の動画制作と案内ピクトグラム)

